実習：教科書002〜006ページおよび020〜021を読んだ上で、教科書014〜019参考に、229ページ「倫理規定の練習問題②」の「２　シュレッダー事故」を考えてみましょう。技術者としてどのような対策を採るべきかを「再発防止のための提案書」としてまとめてください。この事故は2006年に実際に発生した事故です。当時を想定して回答してください。

【状況】

あなたは某メーカーのシュレッダーの設計を担当する技術者です。事故を受けて、後継製品では、投入口を小さくする安全対策を講じ、米国安全基準をクリアする厳しい品質基準の導入も行いました。取扱説明書も改善し、製品に貼る注意喚起ラベルも改善しました。このような安全対策を講じた後継製品の量産開始前に、再発防止と事業性の両立を討議する会議が開かれます。ここで、あなたは技術部門の立場で再発防止のための提案をすることになりました。

【条件】

１　勤務するメーカーの経営陣

２　目的

　　事故を未然に防止できなかったことを悔いており、「技術者としてなすべき事、できることをしたい」という思いを実行できる場を与えられた機会を活かす。

３　ユースケース

　　再発防止と事業性の両立を討議する会議において、技術部門の立場で再発防止提案をする。

４　本講義の主題は①〜④です。

1. 伝える情報を整理する
2. 提案のゴールを設定する（理解、同意、態度変容　など）
3. 提案対象者とその現状を設定し、ゴールとのギャップを把握する
4. ギャップを埋めてゴールへとアプローチするストーリー（提案書のユースケース）を描く

以下は時間があれば取り組んでください。

1. わかりやすく書く。
2. わかりやすく描く。

|  |
| --- |
| ゴール設定 |

|  |
| --- |
| ギャップを埋めゴールへとアプローチするストーリー（作成者側の提案書ユースケース）EE 01の講義は上記までを中心に行います。続けて、提案書として完成していただいても結構です。 |